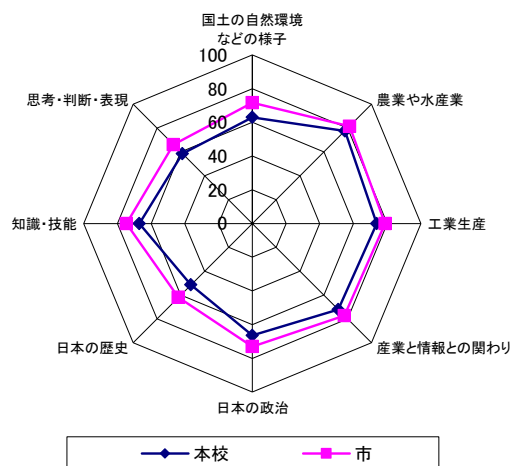


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

領域別	観点別	本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	63.0	71.6	67.5
	農業や水産業	77.6	81.5	82.1
	工業生産	73.8	78.7	70.8
	産業と情報との関わり	72.1	77.2	68.2
	日本の政治	66.4	73.1	77.9
観点別	日本の歴史	51.4	62.0	65.8
	知識・技能	67.0	74.6	74.5
	思考・判断・表現	58.5	66.2	65.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	平均正答率は63.0%で、市平均よりも8.6ポイント低い。 ○自然災害から生活を守る設備(防潮堤)についての設問では、市の平均と同程度である。 ●韓国国旗と位置についての設問では、市の平均を大きく下回っている。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・基礎的な知識の定着を一層図るため、日常的に地図帳を活用し、日本周辺の海洋や国、領土を確認する習慣をつけ、内容と関連付けて学習することで興味や関心を高めていく。
農業や水産業	平均正答率は77.6%で、市平均よりも3.9ポイント低い。 ○地産地消の取り組みについての設問では、市の平均を下回っているものの、平均正答率は80%を超えている。 ●カンントリーエレベーターの理解についての設問では、市の平均を下回った。	・様々な資料から必要な情報を的確に読み取ることができるよう、題名やグラフの特徴、単位等、今後も意図的に授業で取り上げていく。
工業生産	平均正答率は73.8%で、市平均より4.9ポイント低い。 ○自動車工場の作業工程についての設問では、市の平均より2.5ポイント高い。 ●キャリアカーと船に着目して、自動車の出荷の工夫を捉える設問では、市の平均を大きく下回っている。	・基礎的な用語の定着を図るとともに、工業地帯・工業地域の立地や輸送方法については、映像資料などを効果的に活用し、理由や背景についても理解を深められるようにしていく。
産業と情報との関わり	平均正答率は72.1%で、市平均より5.1ポイント低い。 ○資料に着目して、コンビニエンスストアの発注システムについて捉える設問では、市の平均と同程度である。 ●メディアの特徴について理解する設問では、市の平均を大きく下回っている。	・日常生活との関連を踏まえ、社会を支える情報の重要性について理解を深めるとともに、情報を様々な観点から比較し活用していく方法について指導していく。
日本の政治	平均正答率は66.4%で、市平均よりも6.7ポイント低い。 ○基本的な人権の尊重について生活の中の具体的事例をもとに判断する設問では、市の平均を下回っているものの80%を超えている。 ●日本国憲法の理解についての設問では、市の平均を大きく下回っている。	・学習内容を自分事として捉え、興味をもって学習ができるよう、生活と結び付けて考えることができる教材を用い、理解を深めるようにする。時事的な話題を学習に取り入れ関心を高める指導の工夫をしていく。
日本の歴史	平均正答率は51.4%で、市平均よりも10.6ポイント低い。 ●大和朝廷についての設問では、市平均を大きく下回った。	・基礎的な知識を身に付けるために、歴史上の人物や出来事を暗記するだけでなく、その背景や起きた理由等について総合的に捉えて学習することができるようにする。 ・記述式問題の対策として、資料から読み取った情報や自分の考えを、伝え合ったり文章にまとめたりする活動を継続的に取り入れていく。